



高島学園

中学校だより 【第11号】

令和6年 12月 3日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

12月

放課後、教室のごみ箱を抱えて階段を下りていく生徒を見かけることがあります。聞いてみると「環境委員会でごみを集めています」とのことです。保健体育委員が活動の片付けをしていたり、給食委員が残乳と残食を減らそうと活動したり、それぞれ委員長を中心に、主体的な生徒会活動が行われています。そして、最後の企画となる全校

球技大会も心から楽しく取り組めるものとし、しめくくってくれました。

一年間「勇断」として、学園を創ってきたことを頼もしく感じます。



これから、9年生は進路決定へと向かいます。人生における大きな選択です。その自覚が生まれてきました。真剣に学習に取り組んだり、朝読書や掃除などを自ら取り組んだり、学習態度、生活態度ともに変化を感じる様子が増えました。本や新聞の内容を話題にするなど、休み時間の雑談の内容も変わり、気持ちが入試へと向かっています。これからは落ち着いて学校生活を送ることが最も重要です。進路関係の手続きにはミスは許されません。慎重に進めさせていただきます。三者懇談会で最終確認をし、決定へと進みます。お家でしっかりと話し合ってください。目標を明確にして、充実した三学期を目指したいと思っています。

7、8年生は生徒会役員選挙の準備を進めています。今まで9年生についてきましたが、次の学校を創る立場へと変わります。しっかりと引き継ぎ、進めてくれると思っています。

対話をしながら学ぶ

本校で左の研究集会があり、高島市内や大津市内の学校から8年生の授業参観に来校されました。これは、「一人ひとりが安心して生き生きと学ぶ」をテーマに、人権教育の視点から授業について考える集会です。

研究会で「考えや思いを聞き合っている」や「『これってどういうこと?』とお互い確認し合っている」と、授業中の「安心」について、意見を述べ合いました。講師の先生は、「高島中の生徒は落ち着いて話したり、聞いたりしている。

何と言っても「対話」することが大事。どちらかというところ「おしゃべり」をしながら、学びを進めることが大事。

豊かに会話をすることで、互いの理解が深まり、安心が生れる。」と話をされました。

今後の授業づくりにおいて、とても勉強になりました。



人権教育における
授業と教材に関する研究集会

7年目のコミュニティ・スクール・8年目の地域協働活動

トークフォーダンス(11月18日)

PTA 研修部の企画で、初めての試みです。約70名の地域の方々が集まってくださり、実施することができました。生徒たちは、地域の方と膝をつき合わせ、ファシリテーターの西川さんから出されるテーマをもとにして話しました。「対話に困ったときは『急に言われても困るなあ』と言ってくださいいね」とか、「『う～ん』って言うたら時間はたちますよ」と西川さんのほっとする言葉をきいて、初対面であっても安心して話をすることができました。写真から、楽しそうに話しているのがわかります。子どもたちにとって、貴重な経験でした。



「豊かな心を育む」は、学校の大きな目標の一つです。達成のために「こうすればよい」という明確な方法や即効性のあるものはありません。やっぱり温かくて、安心できる環境でしょう。前向きになろうと思う力が湧いてきます。ご参加くださり、ありがとうございました。

読解力をつけるには

定期テストは終わりましたが、9年生は実力テストを目前にひかえています。乗り越えていかなければなりません。「読解力はどうしたらつくかなあ〜」と、図書室で話す生徒がいました。

その日、たまたま次のようなことが新聞に載っていました。

読解力とは、「文章を読んでその内容を理解し、解釈する力」ですが、文章だけでなく、人とのコミュニケーションの中で、相手の気持ちや、伝えたいことを理解する力でもあり、生活の中で必要とされる力で、入試を控える中学生や高校生だけではなく大人にも必要な力です。近年は読解力が低下していると言われていますが、「コミュニケーション不足」と「本を読む機会が減っている」が圧倒的な原因です。

しかしながら、読解力は誰でも高めることができ、その方法です。

- ① 「主人公が何をしたか」「筆者が伝えたいことは何か」をつかむ
- ② 『しかし』『だから』『つまり』に、線を引いて読む
- ③ 読んだあと「何が面白かったか」「どんなことを学んだか」
- ④ 「教科書の文章や好きな本を一日一回声に出して読む」
- ⑤ 「毎日少しの時間(10分でも)を決めて、読書する」

あきらめる必要はありません。読解力はつけるものです。

要点をつかむ

接続詞に注意して読む

自分の考えを人に伝える

文章を音読する

読書の継続

すぐに「読解力がついた!」とは誰もが実感しがたいものです。継続するのが一番の近道なのかもしれません。3年間の朝読書の継続は大きな力となっていることは間違いないでしょう。また、今まで多くの方から聞いたお話や、その方々との対話もでしょう。

今からでも遅くありません。日々の家庭や地域、学校における時間を大切にしたいものです。

